

1月給食だより

令和6年 1月号
岡山市立大元小学校

今年もよろしくおねがいたします

ふゆやす ちゆう よ 冬休み中に夜ふかしや朝寝坊をしていた人も学校のある日の生活に戻りましたか。
はやね ちはやく あさごはん 早寝・早起き・朝ご飯という基本の生活リズムを整えて元気に過ごしましょう。

今月の給食目標

日本と外国の食文化に関心を持ち、国際理解を深めよう！

1月～2月1週目に行事食や郷土料理、岡山市と国際友好交流都市縁組
をしている国の料理を予定しています♪

1月の給食は、国際色豊か！

岡山市の国際友好交流都市・地域

1月25日(木)
国際友好交流都市

(韓国：富川市)
「さわらのヤンニョムジャン焼き
みそチゲ かんこくのり」

フログディフ市

富川市

洛陽市

新竹市

グアム準州

1月26日(金)
国際友好交流都市

(中国：洛陽市)
「海鮮あんかけそば
フルーツむしまん」

2月5日(月)
岡山の郷土料理

(岡山県南部)
「げたのかけめし
しらあえ」

1月24日(水)
国際友好交流都市

(コスタリカ：サンホセ市)
「コスタリカライス
セサミサラダ」

ウマティラインディアン
居留区部族連合
(ベンドルトン市)

サンノゼ市

サンホセ市



学校給食の歩みを見てみましょう！

学校給食の始まり



日本の学校給食は、1889(22)年、山形県鶴岡町(現・鶴岡市)にある大督寺に建てられた私立忠愛小学校で始まったとされています。お坊さんが家々を回ってお経を唱え、いただいた米や野菜、お金を使って、貧しい家庭の子もたちに食事を用意しました。その後、各地へ広まってきましたが、戦争による食料不足で実施できなくなりました。

明治 22 年ごろ おにぎり 塩ザケ 漬物	大正 12 年ごろ 五色ごはん 栄養みそ汁	昭和 17 年ごろ すいとんのみそ汁
-------------------------------------	-------------------------------------	----------------------------------

支援物資による学校給食の再開

戦争が終わり、子どもたちの栄養状態の悪化が心配されたことから、1946(昭和21)年に、アメリカのLARA(アジア救援公認団体)から給食用物資の寄贈を受け、翌年1月から学校給食が再開されました。



昭和 22 年ごろ ミルク(脱脂粉乳) トマトシチュー	昭和 27 年ごろ コッペパン ミルク(脱脂粉乳) 鯨肉の竜田揚げ せん切りキャベツ ジャム
---	--

昭和25年に、アメリカから寄贈された小麦粉でパンが作られ、「パン・ミルク・おかず」の完全給食が始まりました。

学校給食は教育活動に



1954(昭和29)年に「学校給食法」が公布・施行され、学校給食は教育活動として実施されることになりました。それから、時代の移り変わりとともに、子どもたちの食生活を取り巻く環境は大きく変化し、学校給食の内容も変わっていきました。

昭和 40 年ごろ ソフトめん ミートソース 牛乳 フライポテト 黄桃 	昭和 51 年ごろ カレーライス 牛乳 塩もみ ゆで卵
---	--

昭和30年代後半には脱脂粉乳のミルクが牛乳へと切り替わり、コッペパン以外のパンやソフトめんなど、主食の種類が増えていきました。米飯が正式に導入されたのは昭和51年のことです。